

村民に強い不安と衝撃を与えたAH1 攻撃ヘリコプターの不時着事故に対する意見書

去る1月8日午後4時45分ごろ、米軍普天間基地所属のAH1 攻撃ヘリコプター1機が本村儀間の一般廃棄物最終処分場の敷地内に不時着した。2日前の6日には、同飛行場所所属のUH1Yヘリコプターが、うるま市伊計島の海岸に不時着したばかりである。10月以来、連続して事故やトラブルが発生したことは異常事態であり、村民に与えた墜落の不安と衝撃は強く、怒りは頂点に達している。

事故現場は民間住宅地及び大型リゾートホテルからわずか250メートルしか離れてなく、周辺で作業する農業者や観光客などを巻き込む重大事故にもつながるおそれがあり、断じて許されるものではない。又、ホテルの進入路や村道が規制されたため、多くの宿泊客が遠回りを余儀なくされ、観光客にも大きな不安を与えた。

米軍の航空機に関する事故については、これまで枚挙にいとまがないほど発生するなど異常な事態になっている。

本村議会は当該事故が発生する度に米軍や関係機関に繰り返し嚴重に抗議と要請をおこなってきたにもかかわらず、事故が後を絶たない現状に激しい怒りを覚えるとともに米軍の安全管理体制の不備を強く指摘するものである。

本村においては、1965年にはパラシュート降下訓練でトレーラーが目標を外れ、小学5年生の女兒が下敷きになって死亡すると云う痛ましい事故が起きている。

今回の民間地への不時着事故はこれまでの悲惨な事故を想起させ、地域住民を墜落の不安と恐怖に陥れている。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穩な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に嚴重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実施するよう強く要請する。

記

- 1、全米軍機の安全点検を行い、実効性のある再発防止策を講じること。
- 2、事故原因が明らかになるまで普天間基地に所属する米軍機全機の訓練を中止すること。
- 3、民間地上空での米軍機の飛行訓練を中止すること。
- 4、在沖米軍基地の整理縮小と米海兵隊の撤去を図ること。
- 5、日米地位協定を国民主体とした抜本的改定を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年1月10日

沖縄県読谷村議会

あて先 内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、外務省特命全権大使（沖縄担当）
沖縄防衛局長

村民に強い不安と衝撃を与えたAH1 攻撃ヘリコプターの不時着事故に対する抗議決議

去る1月8日午後4時45分ごろ、米軍普天間基地所属のAH1 攻撃ヘリコプター1機が本村儀間の一般廃棄物最終処分場の敷地内に不時着した。2日前の6日には、同飛行場所属のUH1Yヘリコプターが、うるま市伊計島の海岸に不時着したばかりである。10月以来、連続して事故やトラブルが発生したことは異常事態であり、村民に与えた墜落の不安と衝撃は強く、怒りは頂点に達している。

事故現場は民間住宅地及び大型リゾートホテルからわずか250メートルしか離れてなく、周辺で作業する農業者や観光客などを巻き込む重大事故にもつながるおそれがあり、断じて許されるものではない。又、ホテルの進入路や村道が規制されたため、多くの宿泊客が遠回りを余儀なくされ、観光客にも大きな不安を与えた。

米軍の航空機に関する事故については、これまで枚挙にいとまがないほど発生するなど異常な事態になっている。

本村議会は当該事故が発生する度に米軍や関係機関に繰り返し嚴重に抗議と要請をおこなってきたにもかかわらず、事故が後を絶たない現状に激しい怒りを覚えるとともに米軍の安全管理体制の不備を強く指摘するものである。

本村においては、1965年にはパラシュート降下訓練でトレーラーが目標を外れ、小学5年生の女兒が下敷きになって死亡すると云う痛ましい事故が起きている。

今回の民間地への不時着事故はこれまでの悲惨な事故を想起させ、地域住民を墜落の不安と恐怖に陥れている。

よって、読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穩な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に嚴重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実施するよう強く要求する。

記

- 1、全米軍機の安全点検を行い、実効性のある再発防止策を講じること。
- 2、事故原因が明らかになるまで普天間基地に所属する米軍機全機の訓練を中止すること。
- 3、民間地上空での米軍機の飛行訓練を中止すること。
- 4、在沖米軍基地の整理縮小と米海兵隊の撤去を図ること。
- 5、日米地位協定を国民主体とした抜本的改定を行うこと。

以上、決議する。

平成30年1月10日

沖縄県読谷村議会

あて先

駐日米国大使、在日米軍司令官、在沖米四軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事